

WHO 福祉用具重点品目リスト発行について

福祉機器開発部 井上 剛伸

5月24日に開催されたWHO総会において、50種類の福祉用具重点品目リストが採択され、発行されました。

(http://www.who.int/phi/implementation/assistive_technology/global_survey-apl/en/) このリストは、WHOが主導するGATE (Global Cooperation on Assistive Technology)の成果として発行されたものであり、世界各国での福祉用具の普及に寄与することを目的として作成されたものです。

このリストは、福祉用具を限定的に扱うことを意図したものではなく、特に低所得国等での普及にあたり、はじめに取り組むべきリストを示したものです。

リストの作成は、文献レビュー、専門家への調査、専門家による候補機器の選定、世界規模でのアンケート調査、コンセンサスミーティングの段階を経て、実施されました。

国立障害者リハビリテーションセンターでは、世界規模でのアンケート調査（日本語訳の作成、国内での周知）、コンセンサスミーティング（2016/3/21-22 ジュネーブWHO本部）への参加に協力しました。

一連の流れは、薬の普及・啓発においてWHOが過去に行った重点品目リスト作成を倣ったものであり、今後このリストを活用した世界各国での福祉用具の普及に向けた取り組みが進められるものと思われます。